

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：アジア乱読 ILAS Seminar :Intensive Reading Seminar on Basics of Asian Studies			担当者所属 職名・氏名	東南アジア地域研究研究所 教授 中西 嘉宏		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・前期	受講定員 (1回生定員)	20(15)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	木5	教室	東南アジア地域研究研究所東棟 E-202会議室(医・薬・病院構内)		使用言語	日本語	
キーワード	アジア / 精読 / 多読 / 乱読 / レビュー						
【授業の概要・目的】							
【2025年度テーマ：沖縄乱読】							
<p>この授業では、アジアを対象として複数の文献を読んで多角的に考える手法（地域研究）を学びます。本年度の乱読テーマは「沖縄」です。沖縄についての文献を多く読んで、文献の読み方と自分が考えたことの文章化を試みます。</p> <p>知りたいことがあるとして、それについて複数の文献を読むことがどうして必要なのか、どうやって読めばいいのか、そこから何をアウトプットすればいいのか。大学で勉強するために必要な文献の読み方を学びます。</p> <p>みなさんのなかには、2つ目の本を読み終わるころには1つ目の内容忘れていくんですけど・・・という人もいれば、本を読むのが遅くてイライラする人もいれば、寝るために便利な道具としてしか本を使っていない人もいるでしょうし、検索サイトにキーワード入れてAIのまとめ読めばだいたいオッケーですという人もいるかもしれません。多読を通して情報を集め、整理し、さらにアウトプットするのか、その基本的な手段を学びます。</p> <p>理屈よりも実際に読みながら学ぶことを重視しますので粘りづよく課題に取り組むことが求められます。とはいっても、読書好きを対象にしたセミナーではないので、本を読むことが苦手な人の参加も歓迎です。</p>							
【到達目標】							
多読や精読など本を読む方法を知る。ある地域の社会・政治・経済・文化・自然を広く文献講読や輪読を通じて学び、筆者が書いていることを理解するだけでなく、自分で考えるために読めるようになる。テーマとなる地域について自分自身の関心を主に読書を通じて掘り下げることができるようになる。							
【授業計画と内容】							
第1回 オリエンテーション 第2回 自己紹介 第3－5回 本の読み方を知る 第6－8回 沖縄を精読する 第9－11回 沖縄を多読する 第12－14回 沖縄をレビューする 第15回 まとめ							
----- ILASセミナー：アジア乱読(2)へ続く -----							

**ILASセミナー : アジア乱読(2)**

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

複数回の課題提出・・・70%

議論への参加・・・30%

**[教科書]**

使用しない

講読文献は教員が指示するが、受講生の希望や関心を考慮して授業内で決定する。

**[参考書等]**

(参考書)

授業中に紹介する

**[授業外学修(予習・復習)等]**

課題文献は読んだことを前提に授業が始まりますので、頑張って読んでください。

**[その他(オフィスアワー等)]**

読んで議論する形式をとるので、議論への積極的な参加が求められます。少人数なので教員から発言を求められることもありますし、執筆した自分の文章を参加者全員の前で読み上げることもあります。最初は恥ずかしくても徐々に慣れることが多いです。慣れるまで粘り強く取り組んで欲しいです。授業前にオフィスアワーを設けますが、教員とのコンタクトの仕方はオリエンテーションで説明します。

**[主要授業科目(学部・学科名)]**